

# わかやま 県議会 だより

年4回発行  
No.2  
平成20年  
【2008】

# 9

月定例会号

壇上加藍(高野町)

- 主な記事**
- 2～3面 9月定例会概要
  - 4面 議会活動／県議会を知る②／  
県議会を見る・聞く／県議会豆知識②



7月12日に開通した四瀬トンネル

## 建設委員会

和歌山県の国道・県道の改良率は、全国ワースト2位と大きく立ち後れています(注)。

特に、宮井バイパス、奥瀬道路は、全国唯一の飛び地村である北山村の「安全で安心な暮らし」を支える「命の道」と言えるものであり、奥瀬道路の残りの区間や、都市部における渋滞緩和策としての田辺西バイパスの早期完成を要望しました。



(注) 国道：全国 84.4%  
(県管理) 県 57.9%

県道：全国 66.7%  
県 41.2%  
(H18.4.1現在)

# 活動する 常任委員会！

県議会では、議員で構成する6つの常任委員会を設置し、提案された議案を専門的な見地から審査をしたり、今後の政策形成のため様々な調査を行っています。  
今回、3つの委員会の活動を紹介します。

広川明神山風力発電所  
(支柱の高さ約70m 回転羽根直径約60m 風速3mで発電開始)

福祉環境委員会では、10月に2カ所では、10月に2カ所調査を行いました。

まず、民間企業が広川町と由良町にまたがる明神山付近の尾根に建設した発電容量1万6000kW(1000kWの風力発電設備16基)の広川明神山風力発電所を訪問し、風力発電の事業化の課題、採算性、国の支援のあり方等について意見を聞くとともに、景観や低周波問題等への対応を依頼しました。

次に、県福祉事業団(県指定管理者)が管理する由良あかつき園、由良みのり園を訪問し、障害者支援施設の現状を調査しました。

今回の調査で得た経営基盤を安定化したいという県福祉事業団の意見については、新行財政改革推進プランを考慮しつつ、今後、県政に反映していきたいと考えています。



## 福祉環境委員会

## 総務委員会



第二阪和国道(紀の国大橋)

総務委員会では、10月に国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所において、阪和開発連絡協議会の重点事項である阪和間の道路整備のうち、県都和歌山市と大阪府をつなぐ第二阪和国道の進捗状況等について調査を行いました。

第二阪和国道の大阪府阪南市から和歌山市に至る延長約20kmの区間については、現在、大阪府側は阪南市箱ノ浦ランプまでと和歌山県側は和歌山北バイパスが開通し、一定の渋滞緩和が図られました。全線開通時には、慢性的な渋滞の更なる緩和や移動時間の大幅な短縮が期待されます。

和歌山県の発展にこの道路は大変重要であり、遅くとも、平成27年の和歌山国体開催までの開通を強く要望しました。

## 県議会が要請

### 県立高校入学選抜 来年度から新制度導入へ！

高校入試の前期後期制は、すべての生徒に複数の受験機会を与え、主体的に進路を選択できる制度として平成19年度から導入され、その結果を議会としても注視してきましたが、初年度から改善を求める意見がたくさん寄せられました。

中でも、前期試験において多くの不合格者を出すなど、受験する生徒や保護者に予想以上の重圧を与え、精神的に追い込むような状況を作り出している現実は、議会として見過ごすことができなくなってきました。

このことから、教育委員会に対し前期後期制の早期の廃止を強く求めてきた結果、予定より1年早く現行制度が見直され、平成21年度の入学者を選抜する試験から新制度が導入されることになりました。



知事説明要旨

産業の振興のためには、県内の事業者により地域資源を活用した事業展開を積極的に行っていただくことが最も重要であり、助成等による中小企業の育成や、優れた県産品等を県外に向けて積極的にプロモーションしていきます。

また、県民の安全・安心を守るため、引き続き環境生活、福祉政策には全力を挙げて取り組んでいくとともに、今後本県で開催予定の平成23年の第62回全国植樹祭や平成27年の第70回国民体育大会に向けて準備を進めていきます。

一方、県では、財政破綻を回避するため、施設や団体、補助金等の事業見直しを検討しており、その見直しは痛みを伴うものでありますが、県民の皆様のご理解をお願いします。



9月定例会概要

一般質問議員(15人)

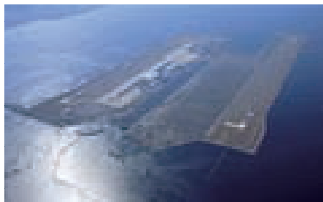
9月16日(火)	9月17日(水)	9月18日(木)	9月19日(金)
小川 武	泉 正徳	中村 裕一	山下 大輔
藤本眞利子	片桐 章浩	多田 純一	藤井健太郎
奥村 規子	松坂 英樹	長坂 隆司	向井嘉久藏
新島 雄	川口 文章	須川 倍行	

主な質問とこれに対する答弁は次のとおりです(要約抜粋)

関西国際空港の整備

**問** 国の21年度予算の概算要求に2期事業の建設事業費が盛り込まれなかったため、県議会として予算化を求める意見書を議決し、関係省庁などに直接届けて強く要望してきた。知事も素早く行動したと聞くが、この件についての所見はどうか。

**答** 8月28日に国土交通省航空局長を訪ね、関空2期事業の継続を強く要望してきた。大阪府、関空会社とも連携し、奮闘している。県議会の意見書議決・要望活動に意を強くしたところであり、今後とも、減便の回復や一日も早い2期工事の完成などに一層積極的に取り組むたい。



紀中・紀南地域への企業誘致

**問** 企業立地促進法に基づく南紀広域企業集積構想が国で同意された。有田以南の地域資源を活用した企業等を誘致するもので、地域発展の起爆剤になるものと期待している。紀中・紀南地域基本計画実現のための手法と意気込みはどうか。

**答** 企業誘致はデスクワークやかけ声だけで実績が上がるものではなく、企業の声を直接聞いて汗をかくことが大事で、この計画を旗印として活用していきたい。誘致活動の実効性を高めるため、中小零細企業が多い地域特性を考慮して立地奨励制度の適用要件を緩和するなど、立地意欲が高まるような支援策の拡充を現在検討中である。

旅行関連事業者のネットワーク構築

**問** 近年、旅行形態の多様化は顕著になってきている。地域で企画した「和歌山産の着地型旅行」を取り扱う県内旅行関連事業者のネットワークを構築し、特色ある幾つかの地域を結んで滞在型観光に発展させていく必要があるが、現在の取組はどうか。

**答** 県では、これまでに、県内旅行業者に対する着地型観光推進に向けた支援を鋭意行っている。今後とも、本県が全国に誇る「ほんまもん体験」を取り入れた着地型観光の推進に向け、県内旅行関連事業者と一緒に積極的に取り組んでいきたい。

学校における模擬選挙の取組

**問** イギリスなどでは、青少年への政治教育の取組が行われており、日本でも重要性が指摘されている。和歌山の学校においても模擬選挙に取り組んでもらいたい。その意義と取り組むことの有効性はどうか。

**答** 模擬選挙は、県内において既に実践している小中高校もあり、成果を上げているとの報告もある。今後、研究していきたい。また、県選挙管理委員会とも連携して積極的に協力するとともに、選挙への関心を高める取組をお願いしていきたい。

用語解説

**模擬選挙**  
投票権を持たない人たちに投票を体験してもらい、子どもや若者が選挙を体験しながら政治について学ぶよい機会となる。

児童施設の防災対策

**問** 阪神・淡路大震災において生命を失った原因の大部分は、室内対策が講じられていなかったことによる。大地震になると重量物・危険物ほど吹っ飛ばすが、児童施設の室内対策の現状、また今後の計画はどうか。

**答** 幼稚園は110施設のうち74施設で、保育園は227施設のうち142施設で室内対策を実施している。県では、ピアノの固定などの室内対策が重要であると認識し、市町村に対し補助を行っている。また、民間保育園には、補助施策として総合防災対策強化事業もある。今後とも幼稚園や保育園の室内対策をさらに進めるよう市町村に働きかけていく。



教員免許更新制度への考え

**問** 教員に免許更新制を導入するのは、一般職公務員との不均衡、医師や弁護士など非更新制免許制度との不整合など、多くの問題がある。教員免許更新制についての基本的な考えはどうか。

**答** 教員として、その時々で求められる資質能力を一定水準に保てるよう、定期的に最新の知識技能を身につけ、自信を持って教壇に立ち、社会の信頼を得ることを目指せるようにとの趣旨で法改正された。現在、21年4月実施に向けて努力をしている。

小中学校耐震化への財政的支援

**問** 小中学校の耐震化を進めるため、単年度負担を減らす制度等の財政的援助や支援が必要である。県民の安心・安全の確保という観点から、国、県、市町村教育委員会など関係機関が連携して有効な手だてが講じられるよう働きかけるべきではないか。

**答** 市町村が耐震化を実施する場合、国の補助制度を活用し、早期に100%の水準に達してもらいたい。単年度負担の問題が解消されないなら、県の貸し付け制度を使ってもらうことにより、実効的な措置ができるものと考えている。

旧県会議事堂の修復保存

**問** 明治31年に建築された旧県会議事堂「一乗閣」は、文化財的価値が高く、重要木造建築物である。修復保存については過去何年にもわたり要望してきたが、一日も早く実現してほしい。

**答** 旧県会議事堂は、和歌山県議会の歴史を今に伝える貴重な建造物であり、現存する木造和風議事堂では最も古い歴史的建造物である。2度の移築を経て時間がたっており、建物の傷みが激しく閉鎖されているため、根来寺や岩出市の協力を得ながら修復保存し、紀北地域の観光面における拠点として、また県議会の歴史を伝える文化財として後世に残していきたい。



## 会期中の主な動き

■下記の特別委員会を開催しました。

- 半島振興・交通・産業振興対策特別委員会(9/18)
- 議員定数等検討特別委員会(9/19)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会(9/25)

■決算特別委員会が設置され、14人の委員が選任されました。閉会后直ちに委員会を開催し、委員長に吉井和視議員、副委員長に泉正徳議員を選出しました。委員会の構成メンバーは次のとおりで、次回12月定例会までに決算の審査を終えることになっています。

### 決算特別委員会(定数14人) 平成20年9月26日選任

◎吉井 和視	○泉 正徳		
山本 茂博	坂本 登	松本 貞次	
町田 亘	中村 裕一	奥村 規子	
谷 洋一	片桐 章浩	中 拓哉	
宇治田栄蔵	服部 一	岸本 健	

◎委員長 ○副委員長

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
知事提出の予算案件	2件	平成20年度和歌山県一般会計補正予算等	可決
知事提出の条例案件	4件	和歌山県青少年健全育成条例の一部を改正する条例等	可決
知事提出のその他案件	10件	紀の川中流域下水道の維持管理に要する費用の負担について等	可決
	2件	平成19年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	継続審査
知事提出の人事案件	2件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めらるるについて等	同意
議員提出の議案	2件	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例等	可決
請願	2件	トンネルじん肺根絶の抜本的な対策に関する請願書等	採択
	1件	後期高齢者医療制度の保険料の軽減を求めらるる請願	不採択
	1件	教育改革についての請願	継続審査
	1件	かつらぎ町道折登堀越線の県道昇格について	取り下げ
意見書	8件	関西国際空港に係る平成21年度概算要求に対する意見書等	可決

### 会期：9月9日から9月26日までの18日間

9月 9日(火) 本会議	16日(火)	22日(月)	} 常任委員会
10日(水) 議案調査	17日(水) 本会議	24日(水)	
11日(木) 議案調査	18日(木) (一般質問)	25日(木)	} 本会議
12日(金)	19日(金)	26日(金)	

## 和歌山市東部地域の渋滞緩和策

**問** 国道24号バイパスは、紀州大橋の4車線化など一定の改良がなされ、地域経済の活性化につながっているが、花山や田中町交差点などでは相変わらず市内中心部への交通渋滞が常態化している。交差点改良や誘導案内板の整備等も含めた渋滞緩和策はどうか。

**答** 和歌山市周辺地域から中心市街地への流入交通を分散するため、県と市が連携して都市計画道路の整備を進めている。和歌山北インターチェンジの整備や交差点への右折レーン設置、交通を円滑に誘導するための案内標識や路面標示などを関係機関と十分調整しながら検討し、重点的、効果的な渋滞解消策に取り組んでいく。



## 国道168号橋本の交差点の課題解消

**問** 以前より、右折レーンの設置など大型車がスムーズに走行できるように改良が求められている。国道168号から国道42号への流入が難しい状況だが、解消策はどうか。

**答** 渋滞解消策として、国道168号に、右折レーン、隅切りの設置が考えられるが、住宅、商店などの用地買収が必要となる。事業実施には地元との協力が不可欠で、今後、新宮市とともに努力していきたい。

## 県営住宅の家賃見直し

**問** 公営住宅法施行令の一部改正により、来年4月、入居収入基準が引き下げられることになっている。制度の見直しで家賃が引き上がる世帯、また引き上げ率はどれくらいか。さらに、家賃引き上げに対する緩和措置や軽減措置はあるのか。

**答** 現在の県営住宅入居者の認定収入額をもとに推計すると、比較的收入が多い世帯について家賃が上昇することになるが、その家賃が上昇する世帯は約2割、1000世帯、16%の上昇率となる。家賃の軽減措置はないが、急激な負担増を避けるため、5年間で新家賃に段階的に移行するよう緩和措置をとることになっている。

## 「紀州うめどり」のブランド化

**問** 「紀州うめどり」が2008食肉産業展「地鶏・銘柄鶏食味コンテスト」において最優秀賞を獲得したが、その価値と意義についてどう思うか。

**答** 他県の地鶏、銘柄鶏に負けなない品質であると証明されたことは、和歌山ブランドの創出という観点から大きな価値がある。今後、より一層積極的にPR活動を展開し、紀州うめどりを和歌山ブランドとして全国に向けて発信していきたい。



## 県産農産物の輸出促進

**問** 農産物の販売は、国内では少子高齢化もあり市場が縮小していくと考えられるが、海外ではアジア諸国が大きな市場になってきている。農産物の海外輸出について他府県の情報をよく聞くと、本県はおくれをとっていないか。

**答** 海外にも目を向けた販路開拓等は重要で、長期総合計画でも輸出を「攻めの農業」の1つの柱として位置づけている。昨年、県農水産物・加工食品輸出促進協議会を設立し、ABICからアドバイザーを迎え、商社ネットワークを活用したプロモーション活動を展開するなど、積極的に取り組んでおり、決しておくれをとっていない。今後、新たな市場開拓に積極的に取り組んでいきたい。

### 用語解説

ABIC(エイビック) 国際社会貢献センター。商社など貿易関係の企業・団体からなる(社)日本貿易会が設立したNPO法人。民間レベルでの支援・交流活動を通じ、国内外での社会貢献への寄与を目的とする。

## 高齢者世帯への支援

**問** 生活必需品の値上げ、雇用の不安定化、保険料の引き上げ、増税など、県民の暮らしは大変だ。特に負担が増え続ける高齢者の暮らしをどう感じているか。また、生活保護や老人医療費助成の拡充が必要と考えるが、低所得者世帯への支援策はどうか。

**答** 高齢者が元気に暮らせて、将来、医療や介護が必要になっても対応できる県づくりを長期総合計画の中でも重要な柱としているが、生活保護制度などのセーフティーネットも重要と考える。高齢者が生きがいを持ち、安全・安心に暮らせる社会を守っていきたく考えている。

## 救命救急センターの運用体制強化



**問** 救命救急センターを中心に拠点病院への救急搬送が増加しているが、空きベッドがなく救急制限せざるを得ない状況もある。スムーズな受け入れと重篤な救急患者への適切な診療を行えるよう運用体制強化を図るとともに、後方支援ができる病院の連携・充実を含めた、時代のニーズに合った救急医療体制の構築が必要ではないか。

**答** 県立医科大学附属病院では、高度な治療や全身管理を行う救急部門と一般病棟の連携促進など、院内体制づくりを検討している。救命救急センターの運用体制強化を支援し、地域医療機関との連携を推進するなど、重篤患者の病状推移に応じて円滑に受け入れられる医療連携体制の確保に努めていきたい。

# 議会活動 TOPICS

## 議長・農林水産委員長が スペイン・ガリシア州等を訪問

熊野古道と  
サンティアゴへの道との  
姉妹道提携から10周年

大沢議長と泉農林水産委員長は、10周年を記念して本県とガリシア州政府が共同で進めるプロモーション事業(写真展「祈りの道」サンティアゴ巡礼の道と熊野古道」等に仁坂知事とともに出席し、欧州各国から訪れた多くの来場者に熊野の魅力を紹介しました。

また、ガリシアはリアス式海岸の語源にもなったほど複雑な海岸線を持ち水産業が非常に盛んなことから地元の水産業関連施設を視察するとともに、同州議会を訪問し、今後の連携について話し合いました。



## EU市場へ 県産品等をトップセールス

県内企業による訪問団とともにマドリッド市内の企業を訪れ、県産品の輸出販売をめざしトップセールスを行いました。また、在スペイン日本大使館において開催された観光と物産合同のプロモーションに出席し、EU市場への県産品の販売や観光交流の促進のため、本県の数多くの魅力をPRしました。



## 県議会を 知る ファイル②

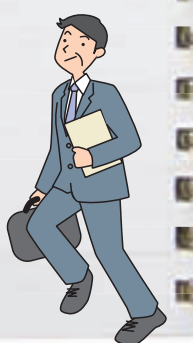
### 議会活動の範囲の 明確化等について

去る9月1日、「地方議会議員の議会活動の範囲の明確化」と議員の報酬に関する規定の整備を内容とする地方自治法の一部を改正する法律が施行されました。

県議会議員の活動には、本会議等の会議に出席して議案の審議を行う「議会活動」と、地方公共団体の事務に関し調査研究したり、住民代表として住民意思を把握する「議員活動」があります。

そもそも地方自治法には、県議会議員の職務や位置づけは明確にされておらず、県議会議員の活動のうち議会活動が公務とされてきました。

今回の法改正により、議員活動のうち、議案の審査又は議会の運営に関する協議又は調整を行う会議等の活動を議会活動と位置づけることができるようになりました。



本県議会では、9月定例会において、7つの会議を会議規則に定め、法律上の議会活動の範囲内のもので明確化しました。

また、議員の報酬については、自治法上他の行政委員会の委員や非常勤職員と同じ条文に規定されていましたが、議員の位置づけを明確にするという観点から、同条文から分離され、「議員報酬」として新しく規定されました。

※議会活動として位置づけた7つの会議  
全員協議会、会派代表者会議、図書委員会  
議会改革検討委員会、条例案検討会  
議員初総会、世話人会

【参考】  
本県議会議員の議員報酬については、厳しい財政状況を踏まえ、平成14年度から削減を始め平成18年度からは6%の減額をしており、近畿2府4県の中で最も低い額となっています。

## 県議会豆知識 ②

議場の真ん中(議長席と議員席の間に位置した、四角く囲まれた中の席)でひたすらペンを走らせている人は、「速記者」です。速記者は、「速記文字」で議場での発言をすべて書き取り、それを漢字・仮名交じり文に直して「会議録」を作成しています。

【速記文字の例】  
「ただいまから、平成20年9月定例会を開会いたします。」



# 見る聞く

県議会を

TV

## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

**テレビ** テレビ和歌山

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(12月定例会の放送予定 12/1、8~11、17)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

**委員会活動リポート**(新規) 11月中旬以降放送予定

**ラジオ** 和歌山放送

**定例県議会ダイジェスト** 開会、質問日の22時から30分間放送(12月定例会の放送予定 12/1、8~11)

## 県議会ホームページ

和歌山県議会

検索

和歌山県議会 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。
- また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



## 傍聴してみませんか

- 本会議は、原則としてだれでも傍聴できます。
- 委員会の傍聴は事前の申込みが必要です。
- 傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。
- 県議会は、年4回(2月、6月、9月、12月)開催される「定例会」のほか、必要に応じて開催される「臨時会」があります。

### 平成20年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月 1日(月)
本会議(質問)	12月 8日(月)~11日(木)
委員会	12月12日(金)・15日(月)
本会議	12月16日(火)~17日(水)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。  
正式な会期日程は、開会前に開催される議会運営委員会で決定されます。

## 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では「議員の政治姿勢と虚礼廃止に関する決議」や公職選挙法等に基づき、虚礼を廃止した議員活動を行っています。具体的には次のような項目です。県民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄付行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

### 編集後記

一般質問でも話題になった旧県会議事堂の一乗閣。実は昔、林間学校で一度だけ泊まったことがあります。当時は何の建物か知らず、楽しかった思い出が心に残っているばかりですが、あそこが和歌山県議会の原点だったんですね。残念ながら一乗閣は老朽化が進み閉鎖中ですが、この号が届く頃は根来寺周辺も赤く色づき始めているでしょう。ひとつ紅葉狩りとしやれこんでみましょうか。

### 和歌山県議会へのお問い合わせは、県議会事務局各課まで

- 総務課** 議会庶務、情報公開など ☎:073-441-3560 Fax:073-441-3559
- 議事課** 傍聴、請願、陳情の受付など ☎:073-441-3570 Fax:073-441-3575
- 調査課** 調査業務、議員提案条例など ☎:073-441-3580 Fax:073-441-3581

発行日/平成20年11月16日  
編集・発行/和歌山県議会 ☎ 073-441-3570  
〒640-8585(県庁専用郵便番号)  
和歌山市小松原通1-1

